

## 平成18年度京都市予算 安心安全で魅力あふれる 区づくりを進めるために



下京区長  
神谷俊昭

就任の  
ごあいさつ

この度、下京区長に就任いたしました神谷です。どうぞよろしくお願いいたします。  
下京のまちには、中世以来町衆と呼ばれる住民の手による産業や文化が育まれ、まじり自治が形成されてきました。この良き自治の伝統は現在に引き継がれ、各種団体の活動をはじめ、地域における区民同士の交流は豊かで、特徴あ

### 下京区関連の 主な事業

#### 個性豊かな区づくり

地域と取り組む駐輪対策  
国際文化観光都市「京都」の玄関口である京都駅前周辺をモデル地域に、住民・企業と行政とのパートナーシップにより、不法駐輪の解消・改善策を検討します。  
個性あふれる区づくり推進事業  
「下京門前町ルネッサンス」や「下京区ふれ愛ひろば」などを実施します。

#### 暮らしの安心・安全

「区役所を拠点とする市民参加による安心安全で個性あふれる地域まちづくり」など、6つの政策分野に重点的に配分し、「選択と集中」を徹底させた内容となっています。各区役所は、まちづくりの課題に基づき、独自事業の予算を要求。下京区の「地域と取り組む駐輪対策」などの事業が予算化されました。

#### 下京消防署整備

老朽化の著しい現庁舎の下京保健所跡地（五条通間町東入）への移転整備に着手します（平成20年度）。

#### 地域の安心安全ネットワークの形成

平成17年度は区内5学区で事業を取り組まれました。今年度も、住民の皆さんと行政の取組も多くみられます。私は、下京のまちの特色であるこの活発なコミュニティ活動を生かして、下京区基本計画に基づく個性あふれるまちづくりを今後とも推進してまいります。

#### また、区民の皆様にとって

最も身近な総合行政機関である区役所が、文字どおり区民生活にとって役に立つ所として、より満足度の高いサービスを提供していけるよう努めるとともに、限られた財源の中で効率的な業務運営に一層取り組んでいく所存です。区民の皆様には、今後のご支援とご協力をお願いいたします。就任のごあいさつとさせていただきます。

#### まちづくり

河原町地区での交通施設バリアフリー化推進  
鳥丸・京都地区に続き、河原町地区において、交通バリアフリー移動円滑化基本構想を策定します。これに基づき、交通事業者や道路管理者などは構想に即したバリアフリー化事業を実施していきます。  
地下駅火災対策施設整備事業  
阪急烏丸駅・河原町駅での火災対策施設整備に補助を行います。  
JR山陰本線複線高架化事業  
京都駅～二条駅間の複線化を進めます。

#### 福祉・教育

小規模多機能型居宅介護拠点整備  
高齢者福祉の地域密着型居宅サービスの拠点「松原のそみの園（仮称）」を整備します。  
下京中学校建設  
平成17年度に引き続き、尚徳中学校跡地に校舎建設を進めます。



下京中学校完成イメージ  
平成19年4月開校予定

#### 中学校ランド夜間照明設備整備

各区1校を対象に夜間照明設備を設置します（平成19年度）。

## 赤十字の活動資金にご協力を

PROTECTING HUMAN DIGNITY ～守ろう人間の尊さを～

日本や世界の各地には、地震や台風などの災害、紛争やテロ、疾病などの恐怖にさらされ、悲しみや痛みをかかえている人たちがたくさんいます。そうした人々に手をさしのべる人間本来のやさしさが、赤十字運動の原点です。

日本赤十字社は、台風14号やフィリピン地滑り災害の被災地での救援活動など広域的な活動を行っており、国内外を問わない献身的な活動が評価されています。5月1日から赤十字運動月間全国キャンペーンを実施します。今年も皆さんに社資募集へのご協力をお願いします。

各学区赤十字奉仕団団長・まちづくり推進課 ☎371・7170



## 定期予防接種のお知らせ

種 類	接種回数	接種対象年齢	時期	場所	料金
BCG	1回	生後6か月未満	通年	保健所	無料
ポリオ（急性灰白髄炎）	6週間以上の間隔で2回	生後3か月～7歳6か月（1歳6か月までの接種が望ましい）	4・10月		
百日せき ジフテリア 破傷風 （三種二種混合）	1期 初回：3～8週間間隔で3回追加：初回接種終了後、12～18か月の間に1回 2期 1回	生後3か月～7歳6か月（初回は1歳までの接種が望ましい） 11歳～13歳未満（標準は11歳）			
麻しん（はしか） ・風しんの混合 ワクチン	1期 1回 2期 1回	生後12か月～2歳未満 5歳～7歳未満（小学校就学前1年の間）	通年	協力医療機関	
日本脳炎	1期 初回：1～4週間間隔で2回追加：初回接種終了後、おおむね1年後に1回 2期 1回	3歳～7歳6か月（3歳で初回、4歳で追加の接種が望ましい） 9歳～13歳未満（標準は9歳）			300円（免除あり）

注意 発熱している人や重篤な急性疾患にかかっている人などは予防接種を行うことができません。

### 麻しん・風しんの 予防接種が変わりました

麻しん（はしか）と風しんの予防接種は、これまでそれぞれに1回ずつの接種を実施していましたが、4月から混合ワクチンによる2回接種に制度が変わりました。平成18年3月までに両方またはどちらか一方の単独ワクチンを接種された方及びどちらか一方の病気がかかった方は、新制度による対象年齢であっても1期または2期の混合ワクチンの接種を受けることができます。  
なお、混合ワクチンの接種の対象とならない方は、希望により任意で単独ワクチンを受けることが可能です。市では、平成18年度の経過措置として、未接種である方の単独ワクチンを無料で接種していただけるよう公費負担を行っています。  
健康づくり推進課 ☎371・7291  
市地域医療課 ☎222・3442

麻しん（はしか）と風しんの予防接種は、これまでそれぞれに1回ずつの接種を実施していましたが、4月から混合ワクチンによる2回接種に制度が変わりました。平成18年3月までに両方またはどちらか一方の単独ワクチンを接種された方及びどちらか一方の病気がかかった方は、新制度による対象年齢であっても1期または2期の混合ワクチンの接種を受けることができます。

## わが町 再発見

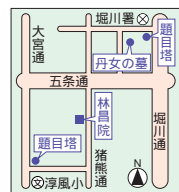
本園寺跡（堀川通五条下る）

本園寺は、鎌倉時代、建長5（1253）年に、日蓮上人が開いた鎌倉松葉谷道場法華堂に由来する。政治が鎌倉から京都に移った室町前期、貞和元（1334）年に光明天皇の命により堀川の西六条坊門小路の南大宮大路の東七条大路の北の広大な地に移った。昭和40年代に山科の地の和歌を学んでいた。



大宮通側の題目塔

本園寺のありし日は、現在の町名にもしのばれる。「北門前町」は松原通の南の町名で、本園寺の北に位置したこと由来。北門前の南に位置する「柿本町」は、境内にあった柿本人麻呂をまつる「柿本社」からきている。



また、本園寺の塔頭、林昌院の墓所に、赤穂浪士小野寺十内秀和の妻丹女が眠る。十内は、浅野家の京留守居役を務め、夫婦で京の和歌を学んでいた。



「夫や子のまつらんものをいそがまし何かこの世におもひ置くべき（夫や息子が待つていたので急ぎましょ。何もこの世に思い残すことはないのです。）」

は、彼女の辞世の歌である。